

平成21年度 地域文化演習・地域文化調査法のテーマ・内容・調査地域一覧

2009年3月9日

地域文化演習(3年選択必修)＝卒業論文に繋がる地理学文献調査・講読を中心とする授業

教員名	授業名	演習テーマ	演習内容等	授業
佐藤哲夫	地域文化演習C	タイの地域研究	タイを例として、外国語文献の講読、地形図・衛星画像の利用、統計の分析による外国地域の研究法を学ぶ。国の基本情報についてのカントリーレポートの作成と、都市誌や観光に焦点を絞った特定地域の研究を行う。英語と、地図または統計が嫌いな人には向かない。全員での研修旅行や合宿は行わないが、夏休みなどを利用して、個別にタイのスタディーツアーを計画する人の相談にはのる。	金曜・5限
高橋健太郎	地域文化演習D	農山村の生活と産業	前期は、農山村の地域社会や産業に関する文献を講読するとともに、週末に日帰りで、東京近辺の農村地域を見学する。後期は、文献講読を継続するとともに、9～10月に長野県飯山市にて調査合宿をして、調査の成果を報告書にまとめる。「村落地理学」を未履修の人は、同時に履修のこと。	月曜・3限
橋詰直道	地域文化演習E	論文レビューによって地域調査の基礎を学ぶ	人文地理学に関する専門分野の論文を前後期ともにレビュー発表することで、地域研究の課題や調査方法を学ぶ。夏休み中には、各自地域調査をし、そのレポートを9月に提出してもらう。また、後期には短期間、関東甲信越地域の小都市で、ゼミ合宿で地域調査を行い、人文地理調査の方法や調査結果の集約・分析方法、まとめ方(報告書作成を含む)も学習する。	月曜・5限

地域文化調査法(3年選択必修)＝卒業論文に繋がる地域調査を中心とする授業

教員名	授業名	調査法テーマ	調査地域	調査期間	調査内容等	授業
小田匡保	地域文化調査法C	城下町新発田の観光振興	新潟県新発田市	9月下旬または10月上旬(3泊4日)	前期は、地域調査の資料(統計・地図など)について学び、調査地の資料を見つけてきて分析する。後期は、現地調査にもとづいて調査報告書の作成を行なう。	水曜・5限
櫻井明久	地域文化調査法D	地誌調査入門	世田谷区及び中国山地のある地方都市	中国山地については9月末から10月はじめ	いくつかの研究課題ごとにグループに分かれ、観察や調査の方法を考え、試みる。実習は都市内関係については大学周辺で、地方都市・農村については中国山地のある都市(未定)。調査成果をもとにその地域をいかに描くかを考え、レポートなどの形式でまとめる。	火曜・4限
須山 聡	地域文化調査法E	奄美大島の地域性	奄美大島	6月22(月)～24(金)	地域調査の計画から実施、報告書の作成までを実習する。近年の調査テーマ・キーワードは次の通り:家屋景観・黒糖焼酎・大島紬・サンゴ礁・食生活・祭祀儀礼・カトリック信仰・亜熱帯農業(島バナナ)・サンゴ垣・観光・高齢者の生活行動。	金曜・4限
土谷敏治	地域文化調査法F	公共交通を中心とした都市の問題	ひたちなか市、あるいは札幌市を予定しているが、その他の都市も含め、受講者の希望を聞いて決定する。	10月中旬を予定している	まず、文献講読を行う。その後、現地調査のテーマを決定し、調査の準備、調査計画作成、(現地調査)、調査結果のまとめを行い、調査報告書を作成する。現地調査は、1人でも、4人程度までのグループで行ってもよい。	火曜・5限

\*演習と調査法、地域調査入門と演習または調査法を履修することも可能です。希望人数によっては調整することもあります。

平成21年度 地域調査入門のテーマ・内容・調査地域一覧

2009年3月9日

地域調査入門(2, 3, 4年選択)両専攻共通＝現地で地域の見方や調査の手掛かりを学ぶ授業

教員名	授業名	調査法テーマ	調査地域	調査期間	調査内容等	授業
高橋健太郎	地域調査入門B(前期)	農山村を知る, 考える	長野県栄村	6月に3泊4日を予定	調査合宿では, 農山村の暮らしや農林業, 少子高齢化にともなう地域社会の変化, 行政の広域連携などについて聞き取りをする。	火曜・4限(前期)
佐藤哲夫	地域調査入門C(後期)	那覇市の特徴を, 地形図や空中写真から読む	沖縄県那覇市	11月4～7日(予定)	地形図や空中写真の見方について, 土地利用や景観の観察を通して体得する。現地では徒歩で移動するので, 毎日20km以上歩くことになる。現地集合・解散。費用はフリープラン型ツアーを利用すれば最低5万円。	水曜・4限(後期)
江口 卓	地域調査入門E(後期)	気候景観	長野県八ヶ岳・車山・諏訪湖	10月中・下旬(1泊2日)	長野県八ヶ岳の縞枯れ現象・車山の構造土・諏訪湖の御神渡しについての文献を読み, 現地調査を行う。	金曜・4限(後期)

\*この科目は地理学科の専門科目が始まる2年の段階で3年の演習や調査法をより効果的にするために主に2年用に設けられた調査の仕方の入門科目です。よって, できるだけ2年生にとってほしい科目です。振り分け時に人数が多数になった場合は, 3・4年生の希望がかなわない場合もあります。

\*\*地域調査入門と演習または調査法を履修することも可能です。希望人数によっては調整することもあります。

平成21年度 地域環境演習・地域環境調査法のテーマ・内容・調査地域一覧

2009年3月9日

地域環境演習(3年選択必修)＝卒業論文に繋がる地理学文献調査・講読を中心とする授業

教員名	授業名	演習テーマ	演習内容等	授業
田中 靖	地域環境演習C	房総半島の自然環境	房総半島の南～東部地域で見られる、地震による地殻変動地形や海岸侵食などを通して、地域の自然環境を調べる。スケジュールは以下の通り。①オリエンテーション(地理学における現地調査とは?) ②文献調査。③現地調査(6月下旬に3泊4日程度の日程で実施する予定。実施方法は受講者の希望で調整する。) ④調査結果の発表。⑤報告書の作成。	水曜・3限
早船元峰	地域環境演習D	自然と人間のかかわりあい	○土地利用・水利用の変化と環境保全など各人興味のある分野に関する論文を発表し所感を述べる。○地理写真撮影の技法の修得。○東京近郊での自然環境の復元の技術を、ピオトープの再生や雑木林の手入れなどの実体験を通して修得する(時期未定)。	木曜・4限

地域環境調査法(3年選択必修)＝卒業論文に繋がる地域調査を中心とする授業

教員名	授業名	調査法テーマ	調査地域	調査期間	調査内容等	授業
平井幸弘	地域環境調査法A	水辺の地形環境問題水辺の自然再生	鳥取・島根県の中海およびその周辺地域	10月初旬を予定	例えば、中海湖岸の自然再生、米子湾の水質改善、野鳥公園の活用、飯梨川のデルタ地形、弓ヶ浜の海岸侵食、大根島の火山地形等、自らテーマを設定し資料収集、地図・画像判読、現地での観察・聞き取り等を行い、レポートをまとめる。	水曜・4限
高木正博	地域環境調査法C	「湧水の里」遊佐町の地下水(湧水・自噴井等)を活かした町づくり	山形県飽海郡遊佐町周辺	6月23日(火)～26日(金)予定	○鳥海山山麓湧水・自噴井等の分布と水文環境調査 ○豊富な地下水・河川水の利用／生活用水・環境用水	金曜・5限
長沼信夫	地域環境調査法E	北海道南西地域の自然と生活環境	小樽市・余市町・仁木町・赤井川村	6月30日～7月3日(3泊4日)	(1)小樽商都の再生 (2)小樽の水辺環境と観光 (3)余市の水産業 (4)余市と仁木の果樹栽培 (5)カルデラの里の生活 <上記からひとつの地域とテーマを選択>	月曜・5限

\*演習と調査法、地域調査入門と演習または調査法を履修することも可能です。 希望人数によっては調整することもあります。